

# 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：木村 昌司

事業名	桂小長谷バイパス（一般国道290号）		事業区分	一般国道	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県岩船郡関川村桂 至：新潟県胎内市小長谷				延長	6.4km
事業概要	一般国道290号は、新潟県村上市を起点とし、新潟県魚沼市に至る幹線道路である。桂小長谷バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長約6.4kmの2車線道路である。					
H4年度事業化	都市計画決定なし		H6年度用地着手	H8年度工事着手		
全体事業費	約75億円		事業進捗率	55%	供用済延長	0.6km
計画交通量	5,400台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2  (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 32/79億円 事業費：26/73億円 維持管理費：6/6億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 96/97億円 走行時間短縮便益：85/86億円 走行費用減少便益：8/8億円 交通事故減少便益：3/3億円	基準年 平成18年		
感度分析の結果	交通量変動：B/C=3.4（交通量+10%） B/C=2.7（交通量-10%） 事業費変動：B/C=2.8（事業費+10%） B/C=3.3（事業費-10%）					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流効率化の支援・・・現道を総重量25t車両が通行可能となる</li> <li>個性ある地域の形成・・・主要な観光地「胎内リゾート」へのアクセス向上が期待される。</li> <li>災害への備え・・・対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけ有り。</li> </ul> <p style="text-align: right;">他3項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	沿線市町村で構成される「一般国道290号新発田・村上間改良促進期成同盟会」を組織し、国・県に積極的に要望活動を行っている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	H6年に一般国道290号と交差する一般国道113号は地域高規格道路新潟山形南部連絡道路の計画路線に指定されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	0.6kmを供用済みであり、残事業区間については、5.8kmのバイパス工事である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	地形の制約により施工に時間を要しているが、胎内市地内のバイパス区間L=2.0kmの早期供用を目指し、今後の事業進捗を図る。					
施設の構造や工法の変更等	一部において、両側歩道設置計画を片側歩道設置の暫定計画とするなどコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。					
事業概要図	<p>事業概要図 桂小長谷バイパス</p> <p>凡例          ■ 供用中          ▨ 再評価箇所          ▨ うち供用中</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。